



【学校教育目標】

Treasure Island

笑顔いっぱい

～気づき、考え、行動する 高島っ子を育てる～

長崎市立高島小中学校 校長 宇土 衛



一人一人の幸せを願って！人権週間

毎年、12月4日～10日の1週間は、世界人権宣言の採択日(12/10)を記念した人権週間が設定され、人権啓発活動が行われます。高島小中学校でも、この間に、「幸せとは何か」や「権利や自由とは何か」について、児童・生徒の発達段階に応じた学習を行っていきます。

早速、初日の12月4日(水)に全校朝会にて、人権について話をしました。昨年度も「人は生まれた時に、誰もが『幸せのパスポート』を持って生まれてくる」という話をし、今年度も『幸せのパスポート』に記されている「安全」「安心」「自由」について伝えました。

幸せのパスポート

1 安全

命が大切にされること。誰からも心や体を傷つけられることはありません。

幸せのパスポート

2 安心

笑顔で暮らせること。誰からもいじめられたり、差別されたりしないことです。

幸せのパスポート

3 自由

自分の思いや考えを伝えたり行動したりすることを邪魔されないこと。好きなものは好きだと言えること。

しかしながら、とても残念なことです。今、世の中ではこのことが守られていない場面が数多くあります。いじめがあったり、差別があったり、戦争や争いごとで安全や安心が奪われたりしています。特に最近、スマホ・SNS上で自分の名前を言わず、自分を明かさず、人を悪く言ったり攻撃したりする人も激増しています。先日、池袋暴走事故で最愛の奥様と娘さんを失った被害者 松永拓也さんの中傷し、殺害予告を行っていた14歳の女子中学生が書類送検された事件には、私自身大変大きなショックを受けました。

全校朝会では、法務省から出されている人権啓発動画「『誰か』のことじゃない。」に、ちょうどSNSの怖さを伝える「インターネット編」があったので、高島小中全員で視聴しました。(この「『誰か』のことじゃない。」は全部で9つのショートストーリーがUPされています。とても分かりやすく「人権」を考える資料になっていますので、ぜひ、ご家庭でも視聴願えたらと思います。

この人権週間は、誰もが生まれながらにもっている『幸せのパスポート』がお互いに大事にされているか、みんなで考え、確かめる時間であればいいなと思います。



写真は中学生「人権学習」「日吉中との交流」の様子。小学生「伊王島小との交流」の様子です。